

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
2	普通		現代社会	2	和田
担当者(担当クラス)					
この科目を履修するための条件や準備					
教科書を精読し、復習を欠かさないこと					
この科目のねらい 目標					
社会人となった時のために、憲法の内容、日本の国会・内閣・裁判所のあり方、住民自治・選挙制度の重要性、環境問題の現状を理解する。					
具体的な指導方法					
考査前に授業ノートの点検をおこなう。基礎的な問題プリントを使用して演習をおこなう。					
使用教材					
使用する教科書			使用する副読本		
高等学校 改訂版 新現代社会 第一学習社			46 帝国書院 地歴高等地図		
評価方法					
定期考査(年5回)・平均点(授業態度・提出物・出席状況など)などで、総合的に判断する。					
年間授業計画					
I. 1 学期中間考査まで					
第1編 私たちの生きる社会 教科書6～24 ページ					
第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方					
教科書26～38 ページ 第1章 青年期と自己の形成					
→4, 5月の課題及び1学期期末考査後の補充授業で対応					
II. 1 学期期末考査まで					
第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方					
教科書40～48ページ 第2章 個人の尊重と法の支配					
教科書50～73 ページ 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義					
III. 2 学期中間考査まで					
第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方					
教科書76～80ページ 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義					
教科書84～100ページ 第4章 国際政治の動向と私たちができること					
教科書102～125ページ 第5章 現代の経済社会と私たちの生活					
IV. 2 学期期末考査まで					
第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方					
教科書126～146ページ 第5章 現代の経済社会と私たちの生活					
教科書148～167ページ 第6章 国際経済の動向と日本の役割					
V. 学年末考査まで					
第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方					
教科書168～180ページ 第7章 民主社会に生きる倫理					